



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月11日

上場会社名 株式会社 リンガーハット

上場取引所 東 福

コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々野 諸延

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 2019年10月11日

配当支払開始予定日

2019年11月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	23,757	0.8	1,115	3.0	1,052	0.5	452	76.9
2019年2月期第2四半期	23,572	3.6	1,082	23.3	1,047	23.5	256	59.4

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 329百万円 (37.2%) 2019年2月期第2四半期 239百万円 (59.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	18.20	
2019年2月期第2四半期	10.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	34,833	19,295	55.3	774.45
2019年2月期	32,380	19,133	59.0	768.07

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 19,276百万円 2019年2月期 19,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		5.00		7.00	12.00
2020年2月期		5.00			
2020年2月期(予想)				7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	6.5	2,600	8.6	2,500	8.2	1,000	19.5	40.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	26,067,972 株	2019年2月期	26,067,972 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	1,177,550 株	2019年2月期	1,184,045 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	24,887,949 株	2019年2月期2Q	24,974,060 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1)本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2)本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する説明」及び10ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、企業収益や雇用環境の改善に伴い、緩やかな景気回復基調にあるものの、自然災害の国内経済への影響や、海外の経済情勢の不確実性の高まりもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、消費者の節約志向に加え、原材料価格の高騰や継続的な採用難・パートアルバイトの時給の上昇により、厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは食の「安全・安心・健康」の向上に継続して取り組んでまいりました。また、『全員参加で、更なる成長を目指そう』をスローガンに、強固な企業体質づくりとともに、企業価値向上に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、国内に18店舗を出店し11店舗を退店いたしました。また、海外におきましては、4店舗を出店し3店舗を退店いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内788店舗、海外18店舗の計806店舗（うち直営店舗586店舗、フランチャイズ店舗220店舗）となりました。

既存店の売上高につきましては、当社グループ全店舗の当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は97.1%となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は237億57百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は11億15百万円（同3.0%増）、経常利益は10億52百万円（同0.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億52百万円（同76.9%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、2019年4月より夏の季節商品「冷やしちゃんぽん」を期間限定で販売いたしました。また同年7月より酸味と辛さが特徴の「トムヤムクンちゃんぽん」を販売しております。

同年6月より、佐賀第3工場を稼働いたしました。この新工場は、生産能力の安定と向上を目指した、もやし栽培ときくらげ加工の専用工場であります。

出退店につきましては、国内では17店舗を出店し10店舗を退店、海外では4店舗を出店し3店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で679店舗、海外で16店舗の計695店舗（うちフランチャイズ店舗202店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は97.3%となり、売上高は184億70百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は6億89百万円（同7.5%減）となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ濱かつ」では、2019年5月より夏季限定商品「梅しそ巻とヒレ膳」「かつおのふらいととんかつ膳」「ローズとヒレの清涼おろしかつ膳」を販売いたしました。

また、食育活動の一環として定期的に食育教室を開催いたしました。

出退店につきましては、1店舗を出店し1店舗を退店した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は国内で109店舗（和食業態の長崎卓袱浜勝、とんかつ大學を含む）、海外で2店舗の計111店舗（うちフランチャイズ店舗18店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は96.6%となり、売上高は51億92百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は2億75百万円（同50.5%増）となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は11億3百万円(前年同期比0.0%減)、営業利益1億47百万円(同1.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億52百万円増加し、348億33百万円となりました。これは主に未収入金や現金及び預金を中心とした流動資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ22億90百万円増加し、155億37百万円となりました。これは主に長期借入金の増加及び人件費の上昇による未払費用の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億61百万円増加し、192億95百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連続業績予想につきましては、2019年4月12日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,431,619	1,991,058
売掛金	799,208	1,076,207
商品及び製品	152,152	151,708
仕掛品	20,889	29,246
原材料及び貯蔵品	329,607	367,329
前払費用	427,737	477,308
未収入金	1,027,855	1,639,087
その他	197,226	336,874
貸倒引当金	△27,038	△27,038
流動資産合計	4,359,258	6,041,782
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,585,275	13,147,265
機械装置及び運搬具(純額)	791,184	1,380,733
土地	4,821,417	6,498,934
リース資産(純額)	159,434	133,993
建設仮勘定	4,256,818	93,273
その他(純額)	955,082	1,077,521
有形固定資産合計	21,569,212	22,331,722
無形固定資産	401,902	459,051
投資その他の資産		
投資有価証券	640,863	530,205
繰延税金資産	1,082,006	1,113,453
退職給付に係る資産	117,699	120,156
差入保証金	1,119,155	1,106,386
建設協力金	87,003	81,760
敷金	2,647,300	2,690,505
その他	379,101	381,043
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	6,050,523	6,000,906
固定資産合計	28,021,639	28,791,680
資産合計	32,380,897	34,833,462

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	967,039	1,192,495
1年内償還予定の社債	316,000	316,000
短期借入金	300,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	1,187,957	1,450,927
リース債務	122,849	114,807
未払金	833,915	795,645
未払費用	1,393,297	1,770,021
未払法人税等	342,170	430,477
未払消費税等	226,299	198,110
株主優待引当金	89,016	89,384
店舗閉鎖損失引当金	4,160	4,160
販売促進引当金	3,344	3,300
資産除去債務	21,116	9,413
その他	594,171	723,627
流動負債合計	6,401,339	7,698,369
固定負債		
社債	914,000	756,000
長期借入金	2,444,916	3,530,443
長期未払金	543,710	540,341
リース債務	310,766	269,838
株式給付引当金	162,870	159,496
退職給付に係る負債	739,600	763,126
長期預り保証金	397,117	390,547
資産除去債務	1,261,192	1,296,597
その他	71,487	133,013
固定負債合計	6,845,661	7,839,405
負債合計	13,247,000	15,537,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	7,020,129	7,020,017
利益剰余金	5,419,730	5,697,270
自己株式	△2,760,307	△2,752,424
株主資本合計	18,682,315	18,967,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158,373	89,319
為替換算調整勘定	20,480	15,295
退職給付に係る調整累計額	253,648	204,368
その他の包括利益累計額合計	432,502	308,983
非支配株主持分	19,078	19,078
純資産合計	19,133,896	19,295,687
負債純資産合計	32,380,897	34,833,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	22,919,742	23,069,700
売上原価	7,624,830	7,654,214
売上総利益	15,294,911	15,415,485
その他の営業収入	652,392	687,660
営業総利益	15,947,304	16,103,145
販売費及び一般管理費	14,864,667	14,988,013
営業利益	1,082,636	1,115,131
営業外収益		
受取利息	1,908	1,936
受取配当金	7,950	7,815
未回収利用券受入益	10,316	—
違約金収入	13,000	—
受取補償金	—	6,814
その他	12,122	9,594
営業外収益合計	45,298	26,161
営業外費用		
支払利息	15,175	22,222
為替差損	4,648	14,883
リース解約損	15,441	3,469
社債発行費	5,289	—
持分法による投資損失	26,973	32,759
その他	12,924	15,419
営業外費用合計	80,452	88,754
経常利益	1,047,482	1,052,539
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,527
店舗閉鎖損失引当金戻入額	801	—
受取補償金	6,039	—
その他	1,000	—
特別利益合計	7,840	1,527
特別損失		
固定資産除却損	211,363	49,434
店舗閉鎖損失引当金繰入額	45,238	—
減損損失	13,232	154,032
投資有価証券評価損	—	7,656
災害による損失	4,240	—
その他	28,527	—
特別損失合計	302,601	211,123
税金等調整前四半期純利益	752,721	842,943
法人税等	495,779	389,944
四半期純利益	256,941	452,998
非支配株主に帰属する四半期純利益	809	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,131	452,998

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	256,941	452,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,149	△69,054
為替換算調整勘定	△15,803	△3,666
退職給付に係る調整額	△7,264	△49,279
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,163	△1,518
その他の包括利益合計	△17,082	△123,519
四半期包括利益	239,858	329,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,806	329,479
非支配株主に係る四半期包括利益	△947	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	752,721	842,943
減価償却費	780,784	905,171
減損損失	13,232	154,032
のれん償却額	1,226	598
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△6,696	368
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	54,219	23,547
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△16,975	△2,457
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△18,571	—
受取利息及び受取配当金	△9,859	△9,751
支払利息	15,175	22,222
持分法による投資損益(△は益)	26,973	32,759
社債発行費	5,289	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,527
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,656
固定資産売却損益(△は益)	322	—
固定資産除却損	211,363	49,434
売上債権の増減額(△は増加)	△145,744	△276,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,986	△45,436
仕入債務の増減額(△は減少)	198,875	225,235
未払消費税等の増減額(△は減少)	△59,200	△156,394
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△515,352	△832,133
その他の流動負債の増減額(△は減少)	588,684	529,846
長期未払金の増減額(△は減少)	△456	△3,369
預り保証金の増減額(△は減少)	9,000	△6,570
その他	△19,500	△51,888
小計	1,834,527	1,407,414
利息及び配当金の受取額	8,932	9,751
利息の支払額	△15,108	△23,815
法人税等の支払額	△395,194	△146,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,433,155	1,247,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,052,597	△1,813,879
有形固定資産の売却による収入	9,919	—
無形固定資産の取得による支出	△9,962	△100,164
建設協力金等の支払による支出	△159,099	△10,344
建設協力金等の回収による収入	88,834	9,430
投資有価証券の取得による支出	△1,439	△1,373
投資有価証券の売却による収入	—	2,412
その他	△54,451	△52,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,178,796	△1,966,861
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	650,000	300,000
長期借入れによる収入	30,000	2,103,000
長期借入金の返済による支出	△494,674	△754,503
社債の発行による収入	494,710	—
社債の償還による支出	△108,000	△158,000
自己株式の売却による収入	9,528	8,376
自己株式の取得による支出	△1,425,148	△493
配当金の支払額	△155,910	△159,120
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△68,932	△62,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,068,426	1,276,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,818	2,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,825,886	559,439
現金及び現金同等物の期首残高	5,975,177	1,431,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,149,290	1,991,058

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	18,215,104	5,235,396	121,633	23,572,135	—	23,572,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	982,036	982,036	△982,036	—
計	18,215,104	5,235,396	1,103,670	24,554,171	△982,036	23,572,135
セグメント利益	745,704	182,973	145,120	1,073,798	8,838	1,082,636

(注) 1. セグメント利益の調整額8,838千円には、セグメント間取引消去20,699千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,861千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は12,880千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は352千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	18,470,454	5,192,121	94,784	23,757,360	—	23,757,360
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,008,835	1,008,835	△1,008,835	—
計	18,470,454	5,192,121	1,103,620	24,766,196	△1,008,835	23,757,360
セグメント利益	689,979	275,417	147,080	1,112,477	2,654	1,115,131

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,654千円には、セグメント間取引消去26,180千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23,526千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗及び閉鎖が決定した工場に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は145,577千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に閉鎖が決定した工場に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は8,455千円であります。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
令和1年 2月期	売上高 (百万円)	15,609	5,714	21,324	4,824	910	5,734	606	204	27,870
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	493	202	695	93	18	111	—	—	806
平成31年 2月期	売上高 (百万円)	15,374	5,839	21,214	4,855	942	5,797	560	363	27,936
第2四半期 連結累計 期間	店舗数 (店)	475	206	681	89	18	107	—	—	788
対前年比率	売上高	101.5%	97.9%	100.5%	99.4%	96.6%	98.9%	108.2%	56.2%	99.8%
	店舗数	103.8%	98.1%	102.1%	104.5%	100.0%	103.7%	—	—	102.3%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。